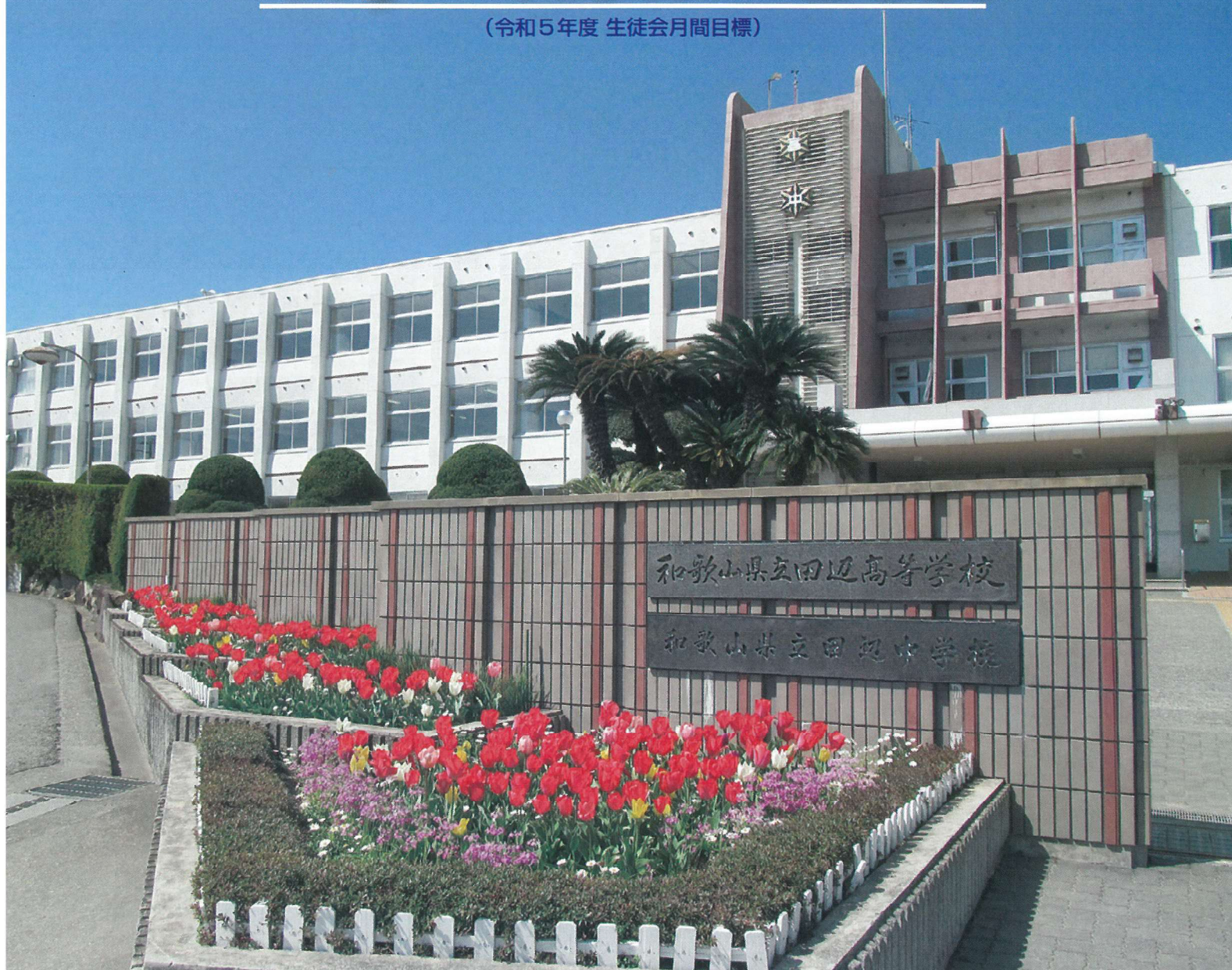


TANABE

Try Now Best

(令和5年度 生徒会月間目標)



令和6年度
学校案内

和歌山県立
田辺中学校

(田辺高等学校併設型中高一貫教育校)

「1の育成」をめざした中高一貫教育

田辺中学校から田辺高等学校自然科学科へ接続する一貫教育

- 一人一人の目標に向かって、6年間の継続的な教育活動を行います。
- さまざまな体験活動を通して、将来の自己実現の基盤を築きます。
- 学校行事や部活動で中学生と高校生が交流し、豊かな人間性が育まれます。
- 数学の授業時数を多くして、じっくりと取り組める時間を確保します。



大学の先生による授業



修学旅行での大学訪問



「ミラ・ロマ高校」短期留学団との交流



学校図書館「日新図書館」

確かな「理数」の学力

中 学 校

- 学校独自教科「実験理科」「演習数学」
- じっくりと取り組み、基礎から発展へ
- 高等学校教員との交流授業
- 充実した理科機器による観察・実験
- 授業時間数の増加（2年数学）

高等学校（自然科学科）

- 「理数数学Ⅰ・Ⅱ・特論」により、数学を幅広く探究
- 理科は3科目履修に対応《多様な進路選択が可能になります》
- 「理数生物」と「理数化学」は必修
- 「理数物理」と「理数地学」は選択で、理系分野を充実
- 高度な演習を展開

充実した学習活動 ～学校独自教科～

実験理科

十分な観察・実験の時間をとって学習を進めていくことで、理科への興味・関心を高め、科学的な思考力や表現力を育成していきます。

高校にある豊富で高度な実験機器を使い、中学校と高校の教員が協力して授業を行います。



表 現

「読む・聞く・書く・話す」の言語活動を通して思考力や表現力・判断力等を育てます。

互いの立場や考え方を尊重する精神を養うとともに、要約・説明・論述などの活動を通して、自分の考えを相手に正確に伝える力など、グローバル化に対応できるコミュニケーション能力の向上を図ります。

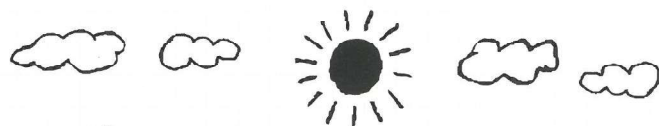


演習数学

論理的思考力を育成するパズルや他者と協力して取り組む学習課題など、楽しみながら発展的な学習内容を学ぶことで数学への興味や理解を深め、数学的な思考力や表現力を育成していきます。



豊富な体験



● 新入生オリエンテーション



1年生が入学して初めて参加する行事です。新しい仲間と集団作りに取り組んだり、本校での学習の仕方について学びます。

● 動物観察飼育体験学習



アドベンチャーワールドの御協力を得て実施する田辺中学校伝統の班別での課題探究学習です。昨年度はSDGsの視点で取り組みました。

● 2年生宿泊体験学習



2年生の2学期に実施する1泊2日の探究学習です。昨年度は講師の先生もお招きし、南紀熊野ジオパークを中心に和歌山の豊かな自然を教材に学習を深めました。

● 天神崎自然観察学習



1年生の1学期に、日本初のナショナルトラスト運動の発祥地で、海洋生物の採取及び観察と隣接する日和山の散策を行います。

● 文化祭

中・高合同行事

● 体育祭



それぞれの学年が「総合的な学習の時間」を中心に組んだ探究学習の成果を発表します。また、文化部に所属している生徒にとっては、作品を展示したり発表する機会でもあります。



令和3年度より中学校単独で実施しています。8つの縦割り班対抗で取り組みます。リーダー性や自主性を育むことを目的とし、活気のある場となっています。

部 活 動

運動部

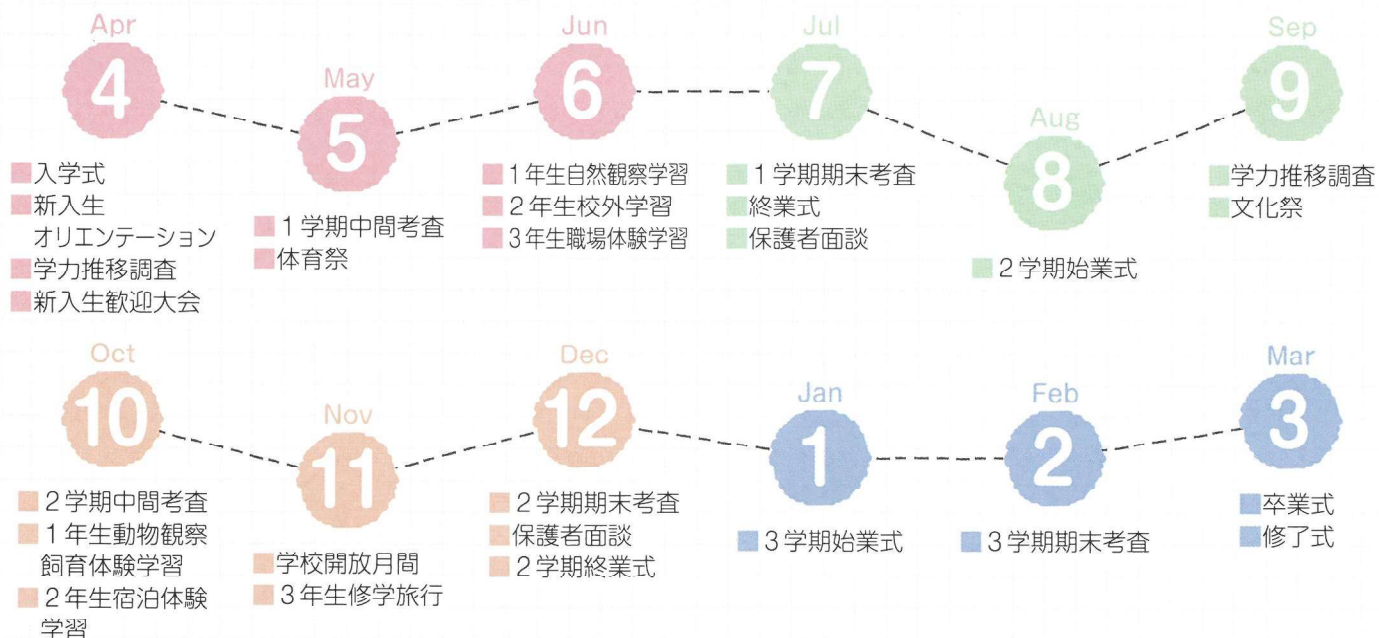
- 卓球
- 陸上
- ソフトテニス
- 剣道
- サッカー
- 新体操
- バスケットボール（女子）

文化部

- 書道
- 文芸
- 合唱
- 英会話
- 美術
- 生物
- 囲碁将棋

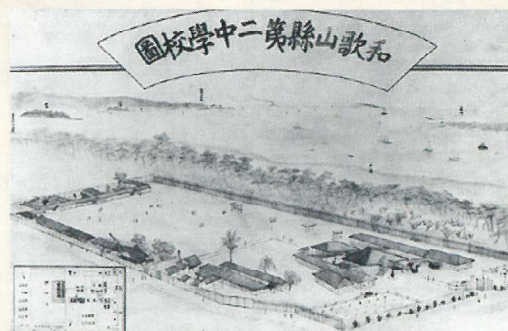


学 校 行 事



よみがえる田辺中学校

—和歌山県立田辺高等学校の沿革と田辺中学校の開校—



明治29年に開校された県立第二尋常中学校が、明治34年に和歌山県立田辺中学校と改称され、現在の田辺市役所の場所にあった校舎から多くの卒業生を送り出しました。昭和23年には、県立田辺高等女学校、市立田辺商業学校、市立田辺高等家政女学校とともに四校が統合され、現在に至る県立田辺高等学校が開校されました。

現在の敷地に田辺高等学校が移転したのは昭和45年のことです。そして、平成18年4月に中高一貫教育校として「和歌山県立田辺中学校」が併設され、「田辺中学校」の名称が59年を経過してよみがえったのです。

田辺中学校 Q & A

Q 中高一貫教育校の利点は何ですか。

A 6年間の教育内容を再編成し、より効果的な方法で、計画的・継続的に指導し、学力を高めていきます。また、生徒を継続的に把握することにより、優れた才能の発見や個性の伸長がより可能となります。さらに、中学校1年生から高校3年生までの幅広い年齢集団による活動が行えることから、豊かな社会性や人間性を育成することができます。

Q 田辺中学校の教育の特色は何ですか。

A 併設型の中高一貫校として田辺中学校から田辺高等学校自然科学科に接続し、6年間の一貫した教育を実施します。

- ・中・高の教員の連携による、6年間を見通した中高一貫教育を推進します。
- ・学校独自教科「実験理科」「演習数学」「表現」を通して、一人一人の資質と能力の向上を図ります。
- ・「動物観察飼育体験学習」や「天神崎自然観察学習」などの体験学習を実施し、学習への興味や関心を広げていきます。

Q 中学校卒業後の進路はどうなりますか。

A 田辺中学校卒業後は、高等学校入学者選抜検査を受けることなく、田辺高等学校自然科学科に進学します。

Q 田辺高等学校自然科学科から文系の大学に進学することはできますか。

A 自然科学科は理数の専門科目を多くしたカリキュラムとなっていますが、科目選択により文系の大学受験にも対応することができます。進路状況は田辺高等学校のホームページを参照してください。

(<https://www.tanabe-h.wakayama-c.ed.jp/high.htm>)

Q 毎日の始業や終業の時間はどうなっていますか。

A 予鈴は8:20で、8:25から読書が始まります。終学活の終了は15:30、清掃終了は15:50です。

Q 通学の手段や方法についてはどう考えれば良いですか。

A 本校には、県内のどこからでも入学することができますが、通学方法については各家庭でお考えいただくことになります。特に自転車での通学区域を指定することは行っていません。体力や安全面を充分御配慮のうえ、各家庭で判断してください。

Q 昼食はどのようにになりますか。

A 中学生は、弁当の持参を基本とします。各家庭で弁当が用意できないときは、生徒ホール（食堂）を利用することも可能です。

Q 部活動は、高校生と一緒に行うのですか。

A 一部の部活動では、高校生と合同で活動しています。田辺・西牟婁中学校総合体育大会で代表となり、県大会や近畿大会等に出場する運動部もあります。

Q 田辺中学校では授業料や入学金は必要ですか。

A 公立の義務教育の学校ですので入学金や授業料は徴収しません。ただし、出願時には選考検査手数料が必要です。また、教材費や学習活動費は他の公立中学校と同様に必要になります。

Q 他の県立中学校と併願はできますか。

A できません。県立中学校への出願は1校のみです。



和歌山県立 田辺中学校

〒646-0024 和歌山県田辺市学園1番71号

TEL: 0739-22-1921 FAX: 0739-22-0636

E-mail: t-010@tanabe-h.wakayama-c.ed.jp

<https://www.tanabe-h.wakayama-c.ed.jp/tyugaku/tanabetyuu.htm>

